

○井神議長 通告7番、11番、吉本勸曜議員、発言席から質問願います。

吉本勸曜議員。

○吉本議員 11番、吉本勸曜でございます。議長の許可をいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

ただいま松下議員の一般質問に対して、中芝市長の市長選挙に対する考え方をお聞きしました。今回の一般質問では、私なりに中芝市長の選挙に対するご意思についてお聞きする予定でありましたが、今、明確に表明されましたので、この1点目については割愛させていただきたいと思っております。多くの市民の皆さんも中芝市長の決断を待っていたと思っておりますので、尊敬する私としても本当にうれしく思います。ありがとうございます。

それでは、続いて、2番目の質問に移らせていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

中芝市長のまちづくり方針は、昨年度において策定しました第2次岩出市長期総合計画・後期基本計画や岩出市まち・ひと・しごと創生総合戦略に方向性が出されておりますので、我々は議員の立場として理解しているところでございますが、一般市民の方々は、なかなかその内容については理解されていないところもあると考えます。

中芝市長の実績につきましては、数え上げれば切りがありませんが、今期4年間の中でも都市基盤整備では、京奈和自動車道では紀北西道路の整備促進とともに、岩出根来インターチェンジの設置、府県間道路泉佐野岩出線については、府県境からの4車線化が進み、いよいよ岩出橋のかけかえの段階まで促進されています。

また、市道根来安上線、市道押川根来線の整備、渋滞対策、浸水対策事業等必要な事業に取り組まれるとともに、岩出市の長年の課題でありました旧県会議事堂・一乗閣については、県事業として修復保存を実現するとともに、隣にねごろ歴史資料館を建設し、ねごろ歴史の丘として、今後の観光振興の拠点としての整備を進められております。

下水道整備については、着々と計画的に進められるとともに、上水道についても第3次拡張変更事業により計画的かつ効果的に進められております。3次拡張変更事業により計画的に進められている事業は、皆さんの深いご理解があればこそと考えております。

また、防災対策としても、南海トラフを震源とする大規模地震の発生が懸念される中、自助・共助・公助それぞれの意識の強化に努めるとともに、自主防災組織の

設立促進、市役所に非常用発電設備の設置、防災行政無線の自動電話対応設備、安全・安心メールの配信サービス、木造住宅耐震化事業、橋梁の長寿命化、さらには民間や行政機関との災害協定を進める等、着々と進められております。

子育て分野におきましては、病後児保育事業、子ども医療費の助成拡充、定期予防接種の充実、子育て応援サイトを開設するなど、地域福祉、高齢者福祉も含めてバランスを重視した福祉施策に取り組まれております。

教育分野では、学校教育においては、学力向上を最重要課題として取り組まれるとともに、学校給食においては地産地消を促進されており、生涯学習においては青少年の健全育成、生涯学習の促進等、市民が生き生きと生きがいを持って暮らせる施策、事業に取り組まれております。

昨年度の紀の国わかやま国体では3種目、紀の国わかやま大会では2種目を誘致され、両大会とも大成功のうちに閉会を迎え、市民の皆様方に多くの感動と夢を与えました。

言い出すと切りがございませぬが、これぐらいにしておきたいと思いますが、まちづくりには終着点はありません。次から次へと課題が発生してまいります。市行政は、そういった課題に的確に答えていくことが求められます。

中芝市長におかれましては、今回の市長選挙に当選された場合、どのような考えで、どのようなまちづくりを進めていこうと考えておられるのか、具体的な方針があるのであれば、お聞きしたいと思います。

以上です。

○井神議長 ただいまの質問に対する市当局の答弁を求めます。

市長。

○中芝市長 吉本議員のご質問にお答えいたします。

選挙への出馬については、先ほど松下議員のご質問にお答えしたとおりでございます。

2点目の今後のまちづくりについて、お答えいたします。

私は、平成8年に町長に就任させていただき、まず着手したことが2つあります。

1つが、まちづくりの基本方針であります長期総合計画の見直しであります。この趣旨は、岩出のことを一番理解しているのは職員であることから、職員みずからどんなまちを目指すのか、自分たちで考えるよう指示しました。

当時の長期総合計画というのは、コンサルタント業者が、どの市町村でも通じるような原案に、それぞれの特性を少し加えるような手法が一般的でありましたので、

職員自身にまちづくりをしっかりと考えさせることが必要と考えたからであります。職員が手づくりで策定した計画を着実かつ計画的に実現していくため、私は自分のできる限り精いっぱい財源確保の手だてを初め、各事業が円滑かつ確実に達成できるよう努力してまいりました。

もう1つは、住民意識、民間意識と職員の意識、いわゆる公務員意識に大きな乖離を感じたことから、住民意識に寄り添える職員を育成していくため、どうすればいいかを考え、町政懇談会を開始しました。町政懇談会の目的は、住民の意見や要望を行政に反映させていくこと、行政が取り組んでいることを理解していただくことであることは言うまでもありませんが、職員が地域に出向き、住民の皆様方と膝を突き合わせ、意見や要望を聞き、住民の方々が何を考えているのか、自分たちは行政として何をしなければならないのか、いろいろな準備も必要であり、職員にとっての勉強の場ということも目的の1つでありました。早いもので、19年続いております。

今後のまちづくりにおける考え方としては、やはり基礎となるのは職員であります。私が市長であろうとなかろうと、岩出というまちは半永久的に続いていくわけです。市にふさわしい職員の資質向上は、執着点のない永遠の課題であると思います。引き続き、私にできる範囲で努力していかねばならないと考えております。

今後4年間で取り組んでいく施策、事業につきましては、第2次岩出市長期総合計画・後期基本計画や岩出市まち・ひと・しごと創生総合戦略にお示ししたとおりであります。やはり市民の皆さん方や地域との対話と協調を基本理念として、まちの将来像と位置づけております「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現を目指していくこととなります。

人口については、まだ減少傾向にあるとは言えませんが、徐々に社会動態は減少しつつあることから、今後は、大きな伸びは望めないものと想定しております。

そんな中で、現状の本市の課題の1つは、玄関都市としての機能充実と考えています。和歌山県最北部、大阪と隣接する岩出市では、広域幹線道路の整備が進み、京奈和自動車道紀北西道路、府県間道路泉佐野岩出線が交差し、国土軸にも近いという意味で、この利点を十分生かさなければなりません。

そのために、現在進めております物流拠点の整備とねごろ歴史の丘を核とした観光基盤の整備とともに、広域観光ネットワークの充実は、交流人口の増はもとより、本市の活性化に不可欠であると考えております。

幹線道路沿いへの商業施設の集積については、にぎわいや交流拠点を創設するだけでなく、雇用の場の確保においても有効であると考えております。また、広域幹線道路の整備に伴う市内道路の交通量の変化に応じて、交差点改良や道路拡幅等道路機能の維持に努めなければなりません。

下水道整備については、第3次認可区域の整備を進め、平成31年度完了を目標に、第4次認可区域の整備に着手してまいります。

次に、東日本大震災や熊本地震の発生に見られるように、巨大地震がいつどこで起こっても不思議ではありません。南海トラフや中央構造線を震源とする地震の脅威を抱える本市においては、災害に強いまちづくりは喫緊の課題であります。

本市においては、自助・共助・公助のそれぞれの役割を認識し、防災・減災の基盤づくりに取り組んでまいりました。自主防災組織の全地域での組織化を目指すとともに、地域防災訓練はより実践的なものに改善してまいります。

個人住宅の耐震化については浸透してきましたが、家具の固定化等、まだまだ防災意識の高揚を図っていく必要があります。また、台風や集中豪雨による浸水被害が発生していることから、引き続き根来川、住吉川の早期改修を要望するとともに、国営総合農地防災事業を初め、国・県などの関係機関と連携を図り、浸水被害の軽減、解消を図ってまいります。

次に、人口増を目指すには、岩出市で生まれ育つ子供をふやしていくことが重要であることは言うまでもありません。そのためには、少子化の最大原因とされる未婚・晩婚化の解消を図り、その上で妊娠・出産・子育て分野において、ニーズに応じた切れ目のない支援や環境整備に取り組んでいく必要があります。

また、子育て分野だけでなく、誰もが人権を尊重され、いつまでも健康で暮らせることが理想であります。

保健・福祉・医療分野においては、年々そのニーズは増大してまいります。まずは健康意識の向上、健康づくりに努め、年代に応じたサービスの充実、提供に取り組んでまいります。

最後に、教育関係については、学力の向上が課題と考えておりますが、小中学校においては、生涯にわたる人間形成の観点から、生涯学習の基礎を養い、確かな学力と豊かな心、たくましい体を兼ね備えた多様な社会環境に適応できる能力を持った子供の育成に向けて、教育内容や設備の充実に努めてまいります。

今後のまちづくりの考え方については主なものを申し上げましたが、いずれにいたしましても、確かな財源の確保と健全財政の堅持を基盤として、行政各分野のバ

ランスを考え、まちづくりが重要であると考えております。

まだまだ行政課題は山積しておりますが、行政は私一人がするものではありません。職員それぞれの個々の能力とチームワークを磨き、市民の皆様と協働をどこまで達成できるか、まちづくりの基本はそういうところにあるのではないかと考えておりますので、振れることなく、岩出市のすばらしい未来へのまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

議員各位におかれましても、ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。まして、吉本議員の質問に対する答弁とさせていただきます。

○井神議長 再質問を許します。

吉本勸曜議員。

○吉本議員 1点だけお聞きしたいと思います。

19年、行政を預けられた市長に対して、多選に対しての批判という声もあろうかと思いますが、私は、市長にふさわしい人、能力のある人については、何年であろうが何期であろうがやっていただきたいと思います。また、逆に、市長にふさわしくない人であるならば、1期でもやっていただきたくないと私は考えますが、市長はどのようにお考えでしょうか。

○井神議長 ただいまの再質問に対する市当局の答弁を求めます。

市長。

○中芝市長 非常に答えにくい答弁でございますが、そうだと思います。やはりまちはまちのことを一番思っている者が、やっぱりやらんとしゃあないです。これはやらんとしゃあないのかなと思っています。よろしくお願いします。（拍手）

○井神議長 静粛に願います。

再々質問ありますか。

（なし）

○井神議長 以上で、吉本勸曜議員の一般質問を終わります。